

単元目標

- ・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解すること。【知識及び技能】(2)ア
- ・根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章にすること。【思考力、判断力、表現力等】B(1)ウ
- ・観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えること。
【思考力、判断力、表現力等】C(1)エ

第一次 文章の構成や論理の展開を読み取り、自分の考えを書くことができる。

①【講義説明】

- ◇ 「モアイは語る」を読み、序論・本論・結論に分けた上で、問いと答えの関係をワークシートにまとめることができる。
- 接続語、文末に着目して問いと答えを探させるとともに、対応関係を傍線と矢印で関連付けるモデルを示すことで、問いと答えの関係の捉え方を理解し、ワークシートにまとめることができるようにする。

②【訓練鍛錬】

- ◇ 筆者の意見と、意見を裏付ける根拠の関係をワークシートにまとめることができる。
- 本論1について、クラゲチャートを用いて意見と根拠の関係をまとめるモデルを示すことで、本論2から結論までの意見と根拠の関係をまとめることができるようにする。

③【訓練鍛錬】

- ◇ 筆者の論理の展開を吟味し、「効果」や「説得力」という観点から意見を述べるができる。
- 地球の未来について主張をのべるために、イースター島の事例を示した筆者の意図を考えさせることにより、筆者の論理の展開の効果を考えさせる。

④【訓練鍛錬】

- ◇ 筆者の主張に対する自分の考えを知識や体験を根拠にして200字程度で文章にまとめる。
- 書くための材料(知識や体験)が不足している生徒には、持続可能な社会への取組資料を参考資料として配布する。書き方が分からない生徒には書き出しを補助して文章にまとめられるようにする。

第二次 意見の説得力を高める「根拠の適切さ」を知り、複数の根拠について「適切な根拠かどうか」を判断し、適切な根拠を選ぶことができる。

⑤【講義説明】

- ◇ 複数の根拠を吟味し、意見の説得力を高める適切な根拠を選び、理由を述べるができる。
- 複数の根拠の中から「説得力が弱い」根拠について、「なぜ説得力が弱いのか」を小グループで交流させることにより、根拠の適切さについて吟味した上で、適切な根拠を選べるようにする。

第三次 地域や社会全体で話題になっていることや問題を感じていることについて、適切な根拠を選び、示し方や構成を工夫して、自分の意見が効果的に伝わる約600字程度の文章を書くことができる。

⑥【問題解決】

- ◇ 社会生活の中から課題を決め、観点ごとに長所と短所を整理した上で、自分の立場を明らかにして考えをまとめ、構成メモを書く。
- 一つの課題について、様々な長所や短所を整理するために、授業支援クラウド上の表に記入させることで、他の生徒の考えも参考にできるようにする。

⑦、⑧【訓練鍛錬】

- ◇ 課題に対して、構成メモをもとに600字程度の意見文の下書きを書く。
- 書くための材料(根拠となる知識や体験)が不足している生徒には、持続可能な社会への取組資料を配布する。書き方が分からない生徒には、書き出しを補助して文章にまとめられるようにする。

⑨【問題解決】※本時

- ◇ 社会生活を題材にした意見文の下書きについて、グループで読み合い、それぞれの意見文の構成に着目して「相手に明確に伝えるために」推敲し合った後に、自分の意見文の修正案を書く。
- チェックリストを用いて「伝えたいことが明確に伝わる意見文か」推敲し合い、よさや改善点についてコメントを挿入し合わせることで、自分の文章の構成のよさや改善が必要な点について客観的に修正できるようにする。

⑩【訓練鍛錬】

- ◇ 前時に書いた修正案をもとに、600字程度で意見文の清書を書くとともに、他のグループの生徒の意見文を読んで、もっとも意見が明確に伝わる意見文を選び、その理由を書く。
- 複数の文章を比較しながら「根拠の適切さ」「構成の工夫」に着目して読ませることで、意見の説得力を高めるための工夫に気付かせる。

⑪検証問題 令和3年度 全国学力調査問題 2 二

山田さんは、国語の時間に、「言葉の使い方について」というテーマで意見文を書いています。

山田さんが書いた意見文の構成にはどのような工夫がありますか。複数の段落に着目して、あなたの考えを書きなさい。その際、1、2などの段落の番号を示しながら書くこと。

本時の主眼

班員の意見の文章の構成について、相手に明確に意見を伝えるために工夫されている点や工夫した方がよい点について具体的な箇所を示しながらコメントを挿入し、意見を述べ合う活動を通して、自分の文章のよい点や改善点を見出して、修正案を記入することができる。【思考力、判断力、表現力等】B書くこと(1)オ

展開(4/5)

学習活動・内容	手立て(○) 評価規準(◇)	配時
<p>1 同じ内容について書いている2つの新聞記事を比べ、それぞれの構成の違いに着目し、受ける印象の違いについて意見を出し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>・新聞A,Bの違いは何か。</p> <p>・その違いからどのような印象の違いを読み取ることができるか。</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40%;"> <p>新聞B</p> <p>しかし、付近の住民を長年苦しめてきた津波の被害が著しく減った。</p> <p>〇〇港堤防を建設したことで観光客が減少した。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40%;"> <p>新聞A</p> <p>〇〇港堤防を建設したことで、付近の住民を長年苦しめてきた津波の被害が著しく減った。</p> <p>しかし、観光客がなくなれ、観光客が減少した。</p> </div> </div> <p>予想される生徒の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞Aは、最後に観光客の減少について書いているので、堤防建設に反対、という印象が残る。 ・新聞Bは最後に津波の被害が減少したことを書いているので、堤防建設の悪影響の印象があまり残らない。 ・新聞A、Bともに書かれている内容は同じで、書き表す順番が異なっているだけだが、「しかし」の後の方が「最も伝えたいこと」のように読み取れる。そのため、Aは堤防建設に反対、Bは堤防建設に賛成している印象を受ける。 	<p>○ 同じ内容の文章でも、構成が変われば読み手に与える印象が変わることに気付かせるために、新聞記事A、Bを比較させ、受ける印象の違いについて意見を出し合わせる。</p> <p>○ 全体で発表させることで、構成を変えることで読み手に与える印象が大きく異なることを全員で共有し、本時の学習の意義を実感させる。</p> <p>○ 現在書いている意見文も、構成を工夫することで、より伝えたいことを相手に分かりやすく伝える効果があることを実感させたうえで、めあてを提示する。</p>	<p>5</p>
<p>2. 社会生活を題材にした意見文の下書きについて、授業支援クラウドを用いてグループで読み合い、それぞれの意見文について推敲し、アドバイスを送付し合う。</p> <p>(1)「伝えたいことが明確に伝わる構成」とはどのような構成か確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見を述べるのは双括型がわかりやすい。 ・自分がどの立場であるか、最初に示している。 ・反論を想定した段落がある。 <p>(2) 授業支援クラウドを用いてグループの生徒が書いた意見文について推敲し、意見文にコメントを挿入した上で、アドバイスシートにアドバイスを記入して送信する。</p>	<p>○ 既習内容である「伝えたいことが明確に伝わる構成」とはどのようなものかを再確認するために、教科書P136「学習のポイント」を確認する。</p> <p>○ グループの生徒の意見文を読んでも、それぞれの段落の役割(意見か根拠か反論の想定か)が分からない生徒には、その意見文の「構成メモ」(タブレットで閲覧可能)を見ると、段落の役割を確認することができることを伝える。</p> <p>○ お互いの意見文に具体的に推敲ができるようにコメントの挿入の仕方やアドバイスの記入例について、モデルを示しながら説明する。</p>	<p>28</p>

<p>推敲の視点</p> <p>伝えたいことが明確に伝わる構成か。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・双括型になっているか。 ・最初に立場を示しているか。 ・適切な根拠が複数あるか。 ・反論を想定した段落があるか。 <p>説得力のある適切な根拠とは（既習内容）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・客観的な事実や信頼性の高い情報・データである。→主観や解釈が入らないようにする。 ・意見と根拠のつながりが明確である。→事実や情報・データがどのように意見を支えているかを述べる。 ・複数の事実や統計結果などを根拠として示している。→複数の調査で結果が一致した数値やデータは信頼性が高いため。 <p>推敲の方法</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 4つの推敲の視点を満たしているかどうか、チェックリストにチェックを入れていく。 ② 意見文に、タッチペンで工夫されている箇所に傍線を、改善が必要な箇所に波線を引き、端的にコメントを挿入する。 ③ 工夫点や改善が必要な点について、具体的なよさやアドバイスをアドバイスシートに書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 適切な根拠が複数あるかを判断するための判断材料として、既習内容である「説得力のある適切な根拠」の条件を掲示する。 ○ グループの生徒の意見文のよい点や改善点を具体的に推敲できるように、推敲の視点を4点示し、それぞれの視点を満たしているかどうかをチェックリストにチェックを入れながら推敲させる。 ○ 一人の生徒の意見文に対して、班員がそれぞれ、工夫されている箇所や改善が必要な箇所に、生徒それぞれが異なる色で線を引いてコメントを端的に挿入させることで、自分の意見文のどこによさがあり、どこに改善が必要なのかを一目でわかるようにする。 	
<p>アドバイスの例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1段落目と5段落目で意見を繰り返し述べる「双括型」になっているが、始めと終わりが全く同じである。最後の方が印象付ける効果があるので、最初は簡潔に意見のみを示してはどうか。 ・反論を想定して意見を述べているので説得力がある。 ・根拠がAさんの体験談とテレビのニュースで取り上げられていたことだが、体験談の方が印象が強いので後に持ってきてはどうか。 <p>(3) グループのメンバーに送信したアドバイスについて、文章化したことの補足を述べたり、送信されたアドバイスについて質問をしたりする。</p> <p>(4) グループ内で推敲された自分の意見文のコメントを参考にして、修正案をコメントする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ より具体的に自分の文章のよい点や改善点を把握し、他のメンバーの意見文のよい点を把握して、自分の文章の修正に生かすために、班で意見を交流する。 ○ 数人の生徒の修正案＝まとめをモニターで表示することで、よりよい構成にするために考えたことを共有する。 	
<p>まとめ（例） 双括型で書いているので、意見が伝わりやすいが、最初と最後の段落が全く一緒のためにくどく感じるため、最初の段落はもっと簡潔に書いた方がいい、というアドバイスを受けて、最初の段落から、水筒を持参することの「よさ」を省いて主張だけを書くことに変える。</p> <p>まとめ（例） 2つ挙げている根拠のうち、最初の1つが体験談で、次の1つがその体験談を裏付けるデータであることで、説得力があるとコメントをもらったので、根拠はこのままの内容と順番で書こうと思う。</p>		
<p>3. 本時の修正案をもとに、次時は意見文を修正し、仕上げる、という見通しを持つ。</p> <p>4. 構成に着目する評価問題として令和3年度全国学力調査問題2を解く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 次時が単元のゴールであることを再確認し、見通しをもたせるとともに、「文章を読んで、構成の工夫を書き表すことができる」ことができるようになったかどうかを自分自身でも把握するために、この後、評価問題を解くことを伝える。 	<p>2</p> <p>15</p>

正答例

- 1 段落で自分の意見を述べ、4 段落で繰り返し述べるという工夫があり、伝えたいことが明確になっていてよいと思う。
- 3 段落で自分の意見に対して予想される反論について述べることで、4 段落の意見に説得力を持たせている。

--	--